



# 議会だより



楽しかったこども園 さようなら！

ひまわりこども園 卒園式

## 平成30年3月定例会

あらし・議案審議	2
予算審査特別委員会	3
請願・一般質問目次	5
一般質問 8人が登壇	6
委員会レポート	14
わたしたちの町(猪苗代中学校)	16



あらまし

平成30年第1回定例会は3月6日から3月16日まで開催されました。  
町長から提出された議案は専決処分承認1件、平成29年度補正予算10件、平成30年度予算13件、条例の制定1件、条例の一部改正14件、指定管理者の指定5件、町道路線の変更1件であり、すべて原案のとおり可決しました。  
一般質問は8人の議員により2日間にわたり行われました。  
ほかに委員会提出議案1件が提出されました。

【一般会計予算の概要】

平成30年度の一般会計予算の総額は、75億8500万円、前年度比2億1500万円、率にして2・8%の減額となった。歳入は自主財源の根幹である税の確保について、徴収率向上への努力により、負担の公平性を担保していく。歳出は内部管理経費の節減をはじめ、事務事業の効率的な執行に努め、事業費の圧縮を図る。  
平成30年度末の町債の現在額は、前年度比約3億2600万円減の約88億6500万円となる見込みである。安定した財政基盤を確保するため、可能な限り起債額を削減する努力を続ける。

『歳入』

町税

現下の景気動向及び予算編成指針等を勘案し計上。個人町民税は農業所得の減額、法人町民税は横ばい。固定資産税は徴収実績見込みで微増。町たばこ税は消費量の減少により減額。町税全体で約2457万円、率にして1・4%減額。

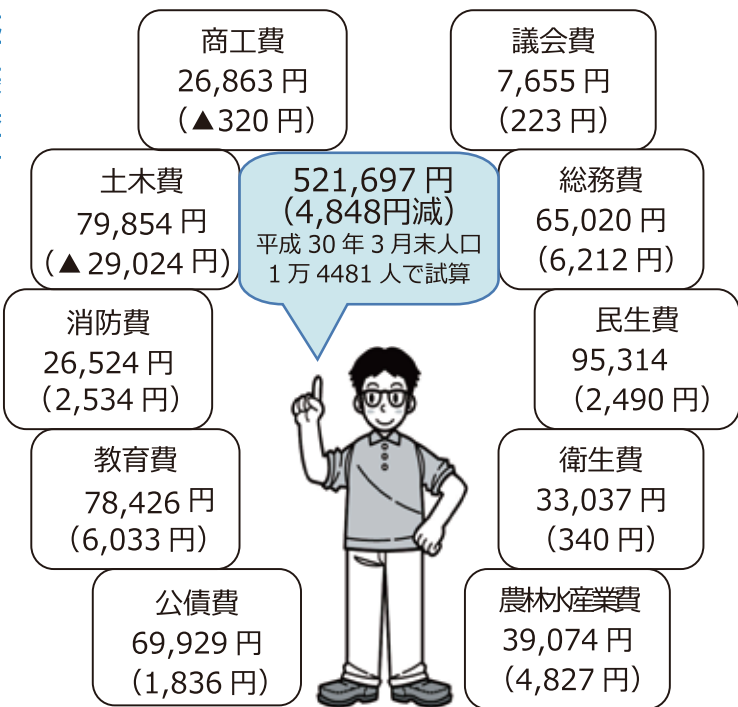
地方交付税

国の地方財政計画等により、前年度比約812万円、率にして約0・3%の減額。

町債

過疎対策事業債、緊急防災・減災事業債、臨時財政対策債等を活用し、6億2000万円を発行。前年度比で12・2%、8590万円の減額計上。

町民一人当たりの  
主な使い道（一般会計）



※（ ）は昨年度対比

『歳出』  
第七次猪苗代町振興計画

策定後2年目となるが、基本理念「ともに地域を育て、みんなが心地よく暮らせるまち 猪苗代」と、5つの基本目標を掲げて重点事業を積極的に推進し、町民福祉の向上に寄与する。

農業情勢

本年産米から生産数量目標の配分がなくなり、本町の主食用米作付面積は1579畝と県から提示された。経営所得安定対策など国の支援を活用しながら、

観光振興対策

町内各スキー場は、降雪に恵まれ、11月から年末まで前年を上回る好調な滑り出しとなった。猪苗代観光商品券「いなチケ」や共通シーズン券販売など誘客に努めてきた。引き続き関係団体と連携を図る。

介護保険料 月額平均500円増

【主な質疑・討論】

《猪苗代町介護保険条例の一部を改正する条例》  
問 月額500円程度の増額の内訳は。

答 第1号被保険者の負担割合の変更で約248円、介護報酬の引き上げで約30円、消費税増税で約60円、給付費の伸びで約300円、合計で647円となるが、500円を超える147円は基金から補填する。  
問 増額の理由は。  
答 給付費が伸びており、上げざるを得ない。

【五十嵐ミエ子議員】  
反対討論

3年ごとに改正するたび値上げされ、高齢者を苦しい立場にしている。値上げは認めることが出来ず反対。

《猪苗代町優良堆肥製造施設条例の一部を改正する条例》  
問 今まで堆肥の散布行為は行っていたか。

答 堆肥の需要拡大、利用促進のため当初から行っていた。  
問 今まで無償であった堆肥散布料が有料化されるようだが。  
答 利用拡大推進のため、散布料は無償で対応していたが、施設が稼動して10年が経過し、受益者負担の考えから応分の費用を徴収することとした。  
問 無償期間の補填は。  
答 補填する考えはない。

【五十嵐ミエ子議員】  
反対討論

米の直接支払交付金が廃止される。農家の高齢化やTPPなど課題が山積する中、料金を取ることには納得がいかず反対。

【審議した議案と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	結果
	星野あけみ	瀧田勝昭	佐瀬真	細貝功人	佐藤英一郎	大橋清喜	渡辺二公	長澤操	金本久美子	渡辺真一郎	五十嵐ミエ子	佐藤光幸	関沢和人	後藤公男	長沼一夫	
平成30年度猪苗代町一般会計予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
平成30年度猪苗代町下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
猪苗代町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	-	可決
猪苗代町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
猪苗代町優良堆肥製造施設条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	-	可決
猪苗代町道路占用料徴集条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

上記以外の議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、同数の場合には議長が採決に加わる。

議長を除く14名の委員で、平成29年度補正予算10件、平成30年度予算13件を審査しました。

## 平成29年度 一般会計補正予算

### 【主な質疑】

#### 歳入

##### 《町税》

問 固定資産税現年課税分の償却資産増額の内容は。

答 太陽光発電4件の増加である。償却資産は、1月末日までに申告し、3月中旬に確定する。当初予算計上には間に合わなかった。

##### 《財産収入》

問 不動産売却収入の内容は。

答 旧吾妻幼稚園の土地、建物売却の収入で、相手先は医療法人ケアテルである。

#### 歳出

##### 《衛生費》

問 高齢者肺炎球菌予防接種の増加は。

答 制度が変更になり、125人程度増えた分である。

##### 《農林水産業費》

問 トップセールス事業の内容は。

答 昨年8月にJAあいづよつばと、その管内17市町村の首長が、会津の農産物を東京で販売、PR等を行った。

## 平成30年度予算

### 一般会計

#### 歳入

##### 《町税》

問 町たばこ税減額の要因は。

答 たばこの消費が伸び悩んでいることが大きな要因である。

問 固定資産税は本年度評価替えということだが、土地と家屋の評価額は下落しているのか。

答 土地は1・08%、家屋は1・3%の下落である。

##### 《財産収入》

問 物品貸付収入の内訳は。

答 道の駅の収益部門で整備した備品等の貸付収入他である。

問 金額を定めない行政財産の貸付の仕方に問題はないのか。

答 指定管理協定の中で定めている。

問 あいづふるさと基金返還金1億5900万円を、当年度予算の財源としているのか。

答 一部を教育施設整備等基金へ積み立て、残りを今年度有効に活用していく予算編成をした。

問 建物貸付をする旧千里幼稚園と旧山潟小学校の建物の維持管理は。

答 貸主である町が負担し、修繕等を行う予定である。

##### 《繰入金》

問 財政調整基金の残金は。

答 30年度末の残高見込みは3億8300万円である。

問 基本的に財政調整基金の額は、財政の10%を目安にするとなっているが。

答 標準財政規模が52億であるので、5億2000万円となる。今後十分検討する。

#### 歳出

##### 《農林水産業費》

問 ブランド化地産地消推進費の旅費の詳細は。

答 販売促進にかかる旅費であり、東京の他に今年度は大阪でも開催する。さらに、海外輸出もドバイと香港を継続して実施する。

問 農業振興費の補助金の対象は。

答 六次化助成事業では六次化にチャレンジする町内の生産・加工を行う方、またチョイスふくしまオリジナル米産地確立推進事業は里山のつづをメインに推進する方、大豆産地づくり活動支援事業は大豆生産組合を予定している。

##### 《商工費》

問 雇用支援事業委託料で、原子力災害対策、災害対応の今年度の雇用人数と内容は。

答 観光協会へ委託している観光誘客促進事業で、4名を予定している。観光協会内や道の駅での案内業務、キャラバン等の活動を行っている。

##### 《土木費》

問 空き家対策費100万円の内訳は。

答 30年度で不良空き家2件の除去を計画している。

##### 《教育費》

問 児童保育費1000万円の増額要因は。

答 町内2施設の民間保育事業所を利用する子どもの数が若干増えていることと、会津若松市の2施設分の広域的な利用が増加したことである。

## 国民健康保険特別会計

#### 歳入

問 国保制度の変更で、繰入金総額が増えている6月の本算定まで待てば、新しい国保制度の姿が見えてくるのか。

答 30年度の補正予算を通じ、31年度以降の予算編成であるべき姿に近づいていきたい。

問 納税組合が納付している保険料の割合は。

答 国保税全体で3億3139万円のうち、6・3%で、30組合である。

## あなたの声を審議しました!!

3月定例会で審議された「請願」の結果は次のとおりです。

区分	件名 請願者の氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
請願第1号	生活保護世帯の子ども達の大学等進学に関する意見書の請願	渡辺 二公	文教厚生	継続審査
	I女性会議猪苗代班 渡部 えつ子			
請願第2号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充とC型肝炎患者の救済の延長を求める意見書の請願	渡辺 二公	文教厚生	不採択
	I女性会議猪苗代班 渡部 えつ子			
請願第3号	種子法廃止に伴う万全の対策を求める請願	渡辺 二公 五十嵐ミエ子	経済建設	採択
	会津農民運動連合会 会長 根本 光一			

## 委員会提出議案

### 種子法廃止に伴う万全の対策を求める意見書

【提出者】 経済建設常任委員会

【内 容】

主要農作物種子法が廃止されたことにより、これまでの種子法に基づいた都道府県の取り組みが後退することがないよう、予算措置等の確保等を行うことを求める。

【提出先】 福島県知事



## 一般質問 町政を問う

### 〇〇〇 主な質問事項 〇〇〇

瀧田 勝昭

地方創生総合戦略の検証評価と財源対策

佐藤 英一郎

ふるさと納税への取組み

五十嵐 ミエ子

交通弱者対策

渡辺 真一郎

教員の長時間労働問題

金本 久美子

平成30年度の重点施策

長澤 操

平成30年度の重点政策

佐瀬 真

猪苗代高校存続への考え

渡辺 二公

高齢者の運転免許返納の対応

### 一般質問とは？

議員が町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点をただすこと。

本町の質問時間は、答弁を含め60分以内で1問1答方式である。





瀧田 勝昭

## Q. 人口減少対策は

### A. 将来に向けて町の姿を今後も検討する



人口に関する総合戦略

【質問】まち・ひと・しごと創生の人口ビジョンいわゆる地方創生総合戦略は、すべての町民が人口減少の危機感を共有するために、情報の発信を行うべきでは。

【企画財務課長】町の自己評価、創生会議での意見を踏まえ、次の年度に反映させていく。町民のご理解いただけるよう、公表のあり方について検討して、可能な限り速やかに公表したいと思う。

【質問】総合戦略は、従来よりの総合計画での事業を再掲している。

【企画財務課長】この総合戦略にかかる事業について、現在のところ各種の特定の財源を確保したり、一般財源を投入して事業を実施している、全体の事業費について詳細にするには時間をいただきたい。

【質問】総合戦略は、従来よりの総合計画での事業を再掲している。

## Q. 具体的な起業支援は

### A. 創業支援塾の開催など積極的に進める



創業支援のチラシ

【質問】働く場所がないと人口増にはつながらない。事業者が今後も事業継続できるように、町は対策をとっているか。

【商工観光課長】商工会アンケート調査では、自身の代で廃業や清算を検討している方は3分の1である。廃業等業種別は、宿泊業が50・9％、飲食業が25・4％などである。県事業引き継ぎ支援センターで、承継や譲渡等に関し情報提供や助言行っている。

【質問】創業の支援はどのようなものか。

【商工観光課長】財務、人材育成、販路開拓などが講義の内容であり、幅広く商工業、観光業も含めて参考となる受講である。

【質問】起業を支援する行政のサポートは、どのようにしているのか。

【商工観光課長】新規事業者や、事業転換等を支援のため、創業者支援資金融資制度で起業保証料の補給や償還利子に100％の補給を行っている。また、猪苗代町商工会と共催で、猪苗代創業塾を開催した。8名が全講義を修了し、うち1名が来月から町内でカフェを開業予定である。



佐藤 英一郎

## Q. ふるさと納税への取り組みは

### A. 第七次猪苗代町振興計画の達成

【質問】ふるさと納税の、町の取り組み考え方は。

【企画財務課長】ふるさと納税の推進等、町内産業の活性化を目的として、交流人口の拡大、移住定住へつながるよう、制度を活用し、寄附をいただいた方に特産品等の返礼品の発送をしている。

平成28年度は寄付件数が537件、386万円で、29年度は2月末現在、寄付件数1354件、9735万円となっている。

【質問】使途は第七次猪苗代町振興計画の達成であるが、本来、自分たちの将来の町をつくるということが振興計画だろうと認識している。自分たちが責任をもって将来を開いていくということだと思うが。

【企画財務課長】野口英世ふるさと猪苗代応援寄付金ということで、第七次の猪苗代町振興計画そのものが本町を応援する趣旨に合致するだろうと思っている。

【質問】使途をもう少し具体的に明示してはどうか。

【企画財務課長】ふるさと納税の裾野を拡大するために、詳細な事業内容等について周知、広報に努めていく。

【質問】返礼品ありきのふるさと納税でなく、どのように町づくりに活かしていくのか。

【企画財務課長】特産品等による町内産業の活性化をより推進するため、返礼品の充実を図る。2点目は、具体的な使い道、使途を明示して寄付をお願いしていく。

3点目には、寄付者と継続的なつながりを強め、交流人口の増加、移住・定住につなげる等、方策を検討する必要があると考える。

## Q. 森林環境税(仮称)導入の対応は

### A. 森林整備等の財源に充てる

【質問】次年度より施行される森林バンク制度への取り組みは。

【農林課長】国民一人ひとりが等しく負担を分かち合って、重要な役割を担う森林を支える仕組みとして、個人住民税と合わせ、森林環境税を創設し、年額1000円を課税することとした。

この税収が市町村及び都道府県に交付され、税収の10分の9を市町村に、そのうち10分の5は私有林人口面積、10分の2は林業就労者数、10分3は人口で按分し、譲与され、各市町村が実施する森林整備等に必要財源に充てるとされている。



次世代に引き継ぐため森林環境税を導入する





五十嵐 ミエ子

Q. 町民誰もが利用できるデマンドタクシーの運行を  
A. 全町民を対象にした運行は難しい

【質問】交通弱者に寄り添う行政の視点が大事であると考えているが。

【企画財務課長】デマンド型の乗合タクシーもその一つと考える。平成23年から実施運行を開始し、本年1月末現在で2930人と多くの方に利用されている。乗り継ぎの停留所も利用者の実情に合わせたものになっている。高齢者、遠方にお住まいの方々の大切な足として利用いただいている。今後も可能な限り交通弱者対策の先進事例等を研究していく。



運行中のデマンド型タクシー

【質問】高齢者社会が進む中で今後の支援対策は。

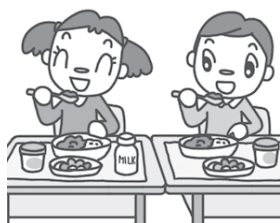
【企画財務課長】道路運送法があり、全町民を対象にした運行は難しい。現在の法律の範囲の中で、先行して効果を上げていく交通施策について研究、検討してまいりたい。

Q. 食育にとって重要な栄養士、増員の考えは  
A. 配置基準を満たしており増員は考えていない

【質問】27年から食育推進計画が進められている。どのようなことを重点的に取り組んでいるのか。

【教育総務課長】この計画は保健福祉課を中心に教育総務課、こども課、農林課が連携し進めている。

これまでの取り組みは、町健診の結果、注意が必要な方への食生活改善指導や、食生活改善メニューを広報誌に掲載するなどの啓蒙活動と、学校、こども園での給食における栄養管理、年2回の「朝食について見直そう習慣」を設定し、1日に1回は家族全員で食事をするということを重視し指導している。



食育は教育の一環

【質問】給食費の軽減、無償化は。

【教育総務課長】要保護、準要保護を受けている児童生徒については、給食費の補助を行っている。

Q. 4月から国民健康保険事業は  
A. 全面県へ移管される

【質問】国保税率はどのように決めるのか判りにくい。

【町民生活課長】確定申告後所得額の推定と医療費水準に拠る。また、平成36年の税率統一までは、県提示の水準を参考に市町村で決める。

【質問】町の医療費水準は。

【町民生活課長】県平均より高い。多くの医療費を使っている。



毎週水曜日は部活動が行われない

Q. マイナンバーカードの発行枚数の人口比は  
A. 2月末で10・46%

【質問】マイナンバーの進行スケジュールの経過は。

【町民生活課長】スムーズに行われている。

【質問】日本年金機構との照会が可能になれば、手続きが簡素化され業務が減少するのでは。

【町民生活課長】窓口への大きな影響はない。

Q. 道の駅雇用人数は  
A. 町内で31人雇用している

【質問】道の駅の経済効果は。

【建設課長】あらゆる関係者の波及効果を累計すれば、10億円は下らないと推定する。

【質問】開業年数の経過で来場者は漸減すると予想するが、工夫は。

【建設課長】株式会社道の駅の企画立案が基本で、町としての予算の応援は想定していない。

【質問】コンビニでの証明書交付サービスの導入は。

【町民生活課長】初期費用、維持経費がかさむので再度検討する。

【質問】マイナンバー制度の整備は30年終了の予定だが。

【町民生活課長】予定通り終了する。

Q. 教員の労働時間は長すぎるのでは  
A. そのように認識している

【質問】教員の勤務時間の実態と教育委員会の見解は。

【教育総務課長】労働時間は長いと十分認識している。時間外労働が月45時間を越える要因について指導をしている。

【質問】負担軽減の取り組みは。

【教育総務課長】週に1回、水曜日にノー残業デーとともに部活動も少ないという指導をしている。

【質問】10年前と比べ勤務時間が長くなっている。指導要綱の改定による影響が強いのでは。

【教育総務課長】改定に伴い事務量も増えている。町は小規模校が多く、一教員の事務負担が増えている。

【質問】小学校の英語教科化への対策は。

【教育総務課長】外国語指導員の増と東京学芸大学との連携により対応したい。





金本 久美子

【質問】統合中学校建設の基本構想の検討は。

【教育総務課長】ワークショップを、1回目は「新しい中学校にこんなものがあつたらいいな」、2回目は「大体の配置」、3回目は「校舎内の配置」をテーマに行った。さらに、現中学生全員及び小中学校の生徒の保護者に対してアンケートを行い、結果を3月末までにその計画を取りまとめる予定である。

【質問】取りまとめた結果の公表は。

【教育総務課長】猪苗代町教育施設適正配置等検討委員会の承認を得てから、5月末か6月初旬に同意を得て、次のステップに進みたいと考えている。各学校の保護者会、中学校、小学校を含めて地区説明会を行い、その後の基本設計や土木設計の発注、協議予定である。

【質問】基本計画策定の時期は。

【教育総務課長】小中学校順繰りに説明会を行うと6月いっぱいかかり、7月から8月上旬ぐらいに基本計画策定の発注、その後土木設計の発注となる。



猪苗代中学校 北側

【質問】吾妻中、東中のその後の計画は。

【教育総務課長】吾妻中は耐震基準に合致していないので、基本的に取り壊す方針である。東中は耐震基準も満たし、エレベーターとバリアフリー、※アーバンデザイン等に合致した施設なので、再利用を考えている。

【質問】障がい者福祉施設の充実という観点からの小中学校、保育所を合わせた利用再検討は。

【教育総務課長】東中は規模も大きく運動施設もあり、バリアフリー、エレベーターもあり、スロープになっているので、障がい者施設だけでなく、老健施設等にも十分再利用できる。

Q. 駅前広場、整備完了後の再整備は

A. 町費の抑制を図りながら事業を進めていく

【質問】地区住民との協議は。

【町長】猪苗代駅前には朝の通勤、通学ラッシュ時、あれでは困ると再三再三四いろいろな地域の方々、保護者の方から話があり、再整備を行った。これから先、百年の大計の一つで、どう開発しようか、現在思案中である。



再整備が進む猪苗代駅前広場

小学校の統合も控えているので、障がい者利用、福祉のための利用というのも選択肢の一つとして考えたい。

※アーバンデザインとは？

都市設計、都市計画を造形・自然・歴史などの要素を総合し、具体的に設計したもの。



長澤 操

Q. 次年度の重点政策は

A. 住民生活に密着した施策を積極的に展開する

【質問】重点政策の内容は。

【総務課長】消防防災対策では、小型動力ポンプを各消防団に6台購入し、全国瞬時警報システムは新型受信機更新を行う。

地域振興対策は、地域おこし協力隊活動事業とふるさと納税事業を展開していく。

高齢者福祉対策として、緊急通報システムを整備する。

土木建設事業は、町道牛沼線道路改良工事、猪苗代浄化センターの改築工事等がある。

教育振興対策では、統合中学校の新校舎基本設計委託事業等を予定している。

Q. 平成38年度の人口目標は達成できるか

A. 目標の1万2900人を何とか達成できる

【質問】過去5年間の推移と対策は。

【企画財務課長】国政調査の人口は、昨年は1万4506人で、転入転出の社会動態が年50人から100人減少、出生と死亡の自然動態では出生数が80人程度まで減少、死亡者数は250人前後で推移している。社会動態と自然動態を合わせると、年200人から250人が減少している。

対策は、全国的な流れの中で少しでも減少を抑えるため、猪苗代町第七次振興計画などを踏まえ、きめ細やかな各種施策に取り組んでいきたい。

【質問】今以上の子育て支援の考えは。

【保健福祉課長】スマートフォンを電子母子手帳として使用できるアプリ導入を予定している。

【質問】子育ての直接的な経済支援は、今以上できないのか。

【企画財務課長】27年に出産手当を第1子からの支給と制度を改正したが、子育てに関して経済負担を考えると、出産まで結びつかないというのが現状と思われる。独自の政策として、経済的な支援等は現在のところ厳しいものがあると考えている。



ふるさと納税返礼品  
「猪苗代おいしいものセット」

【質問】官・学・民連携による交流人口の拡大は。

【企画財務課長】道の駅を中心とした観光情報の発信による観光客の誘客を図る。

教育旅行、合宿、インバウンドの誘致は県や周辺市町村を連携して推進している。

廃校を利用した「人の駅」構想では、体験型観光の取組みと、ふるさと納税による特産物をはじめ、共通リフト券や宿泊券等、返礼品として提供している。





佐瀬 真

Q. 猪苗代高校、存続プロジェクトチームを作る意思是

A. 存続に向け、作る方向で検討する

【質問】猪苗代高校は必要だと考えているのか。

【町長】教育面でもマイナスと考え、町一丸となつて存続を考えていくことが大事だと考える。

【質問】存続へ向け町独自の方策は。

【教育長】高校側から、他地域からの生徒の通学費や住居費の補助の要望がある。従来からのスキの猪苗代高校復活に向け、強化指定校にしていたき、様々なアピールをしていきたい。

【質問】スキの猪苗代高校を復活させるためにも、良い指導者が必要である。富岡バドミントン部の活動のような中高一貫6年のコーチSTEMを町が作れないのか。

【教育長】以前は強化指定校になっていた。指導者や選手などの条件が問題だがオリンピック選手を輩出した学校として、存続をアピールしていく。



生徒の減った猪苗代高校卒業式

【質問】町独自の存続プロジェクトチームを作る意思はあるのか。

【教育長】存続を含めた、こういうプロジェクトチームが出来るのは良いと思うので検討していく。

【質問】存続に失敗して廃校となつてしまった時、また空き校舎が増えることになるが、統合中学校をそちらに移す案も考えておく必要があるのでは。

【町長】統合中学校は現在の方向で進めていく。

Q. 商店街通りの歩道除雪は  
A. 屋根の雪が落ちた時に集中歩道排雪で対応している

【質問】観光地である商店街通りの歩道に雪が残り、お年寄りや、子ども達が歩くのも大変だが。

【建設課長】空き家や高齢者世帯も増え、除雪困難な場所は、屋根からの落雪の危険がない時に、集中歩道排雪で対応している。

【質問】高齢化により町直営の除雪オペレーターの確保が難しくなっているが、若手を育てる支援策は。

【建設課長】有資格者の若いオペレーターへの指導は、ベテランオペレーターが指導している。資格のない方への免許等の資格取得への支援は考えていない。



除雪オペレーターの確保が課題

【質問】五百苅町営住宅の通路は高齢者も多く、住んでいる方では除雪出来ないが方策は。

【建設課長】敷地内の除雪は住んでいる方をお願いしているが、積雪の量により民間委託で排雪している。



渡辺 二公

Q. 高齢者の運転免許証返納は

A. 近隣市町村の対応を参考に検討したい

【質問】高齢者の運転免許証の現状は。

【総務課長】65歳以上の免許証を持つ人は昨年1月現在28・6%で、80歳以上は5・1%である。

【質問】返納後の町の具体的な対応は。

【総務課長】町独自の対策はないが、近隣市町村の対策を参考に検討する。また、返納する際、運転経歴証明書を受け、提示すれば県タクシー協会で1割引く支援がある。

町は警察署や交通安全協会など関係機関と連携を図り高齢者の支援をしていく。

【質問】具体的なサポートは。

【総務課長】昨年3月に道路交通法が改正され、自主的返納が増加した。返納後の生活を保つため、デマンドタクシーやバス、電車、タクシー等交通機関の確保の充実、地域包括支援センターなど関係機関と連携を図る。



大茂田川の現状

Q. 大茂田川の管理は

A. 地元の利用者で対応してほしい

【質問】現状は。

【建設課長】磐梯山の自然湧水等が集積し川となった法定外水路である。近年は土砂の堆積等で水流を阻害し、大雨時には土水路の決壊が発生している。

【質問】今後の対応は。

【建設課長】財産管理は町であるが、実際の管理は地元で実施していただきたい。危険箇所は町の補助金や多面的機能支払交付金を活用し、整備していただきたい。

【質問】消防用水として不安がある。

【建設課長】消火栓と防火水槽で対応している。

Q. 野生動物の組織的対策が求められるのでは  
A. 地元住民と連携を密に地域全体に拡大する

【質問】年間の野生動物の被害額は。

【農林課長】平成28年度は、サル約160万円、イノシシ約21万円、クマ約7万円で合計約188万円、面積は121・5㍎、29年度は、サル、イノシシなどで合計約95万円、面積は62・4㍎である。

【質問】野生動物が出なければ本来栽培された作物の金額も被害額に上乗せすべきでは。

【農林課長】29年度のサル被害が大きく減少した要因には被害防止対策だけでなく、栽培放棄も推測される。被害集落へのアンケート調査を検討していく。

【質問】人里と野生動物との距離をどう確保するか。

【農林課長】被害集落や県と協力し、周辺の林縁部や長瀬川河川敷の伐採を行っている。また、集落間で連携を取り、地域全体で効果的に対策に取り組む体制整備を図っていく。



# 委員会レポート

## ～機能別消防団は～

### 【概要】

消防団の状況は、団員不足が全国的に大きな問題となっており、団員数は昭和27年がピークで209万人、現在は90万人を割り込んでいる。そのようななか、団員確保が課題となっており、平成17年に消防庁から「消防団員の活動環境の整備について」が出され、その中で機能別消防団員という言葉が使われ、基本団員を補完する機能別消防団員制度ができた。

本町消防団員の条例定数545名、実人数535名、充足率97・24%で、他市町村は機能別団員を含めても本町より充足率が低く、団員確保の困難さが伺えるが、本町は町外勤務者が多くいるので、日中の災害対応が十分でない状況にあると考える。

現在、団員の災害出動状況等を把握し、機能別団員の必要性について調査しているところである。

### 【意見】

本町の状況は、条例定数には若干欠けており、基本団員確保に向け、補助事業を活用し取り組んでいるが、団員の活動実態を把握し、女性団員も含め機能別団員の必要性について再検討が必要と思われる。

消防団協力事業所は17事業所あるが、全ての事業所への働きかけや、災害等出動者には現場手当等支給するなど優遇するシステムへ移行していかなければ、機能別団員も有効活用できないと考えるので、実態調査後に現実的活用を考えていただきたい。



訓練に励む消防団員

## ～企業誘致と観光客の現状は～

### 【調査内容】

#### ①企業誘致

首都圏で開催の福島県企業立地セミナーへの参加では、参加企業と情報交換会を行い、立地情報の収集をした。また、県内で行われた畜産企業誘致相談会では、自然環境の良さや企業のブランドイメージ向上などを説明した。

#### ②観光客の現状

平成28年の観光客入込数は、震災前より43万2千人減の166万3千人で、温泉施設、スキー場、教育旅行やインバウンド等が減少しているが、猪苗代湖、磐梯山登山は回復基調である。観光誘客の取組みは、メディア、ホームページなどを活用して正確な情報を迅速に発信している。さらに、商工会と連携し物産展を実施している。教育旅行回復は、県外の教育委員会等や旅行会社へ誘客活動を行っている。また、「いなチケ」や「ゆきいち」などを発行し誘客拡大に努めている。

### 【意見】

①企業誘致も必要だが、働く人材の確保が大切と思われる。新規雇用者の研修支援の充実に向け、国、県、大学等と立地企業、地域との関係づくりが重要である特に、教育関係や試験研究機関との連携から施設の誘致も図っていただきたい。

②いまだに風評被害が続く現状から、入込み数の回復していない教育旅行を中心に、県の取組みに加え、町独自の対応が必要である。ブランド戦略や観光交流、留学生の教育旅行、個人旅行者向けの宿泊・商品等の充実を図り、東京オリンピック・パラリンピックを起爆剤に、観光復興を「戻す」から、「新たに創り出す」を目指してほしい。



HPに掲載されている工場用地等情報

## 経済建設常任委員会

## 総務常任委員会

## ～文化財の保存状況と活用～

### 【概要】

旧猪苗代保育所に民具1729点、埋蔵文化財に係る遺物が天箱で350箱、発掘関係用具一式、猪苗代町史は1960冊、猪苗代の民話が179冊、町史編集資料として41箱、合計で4259点が保管されている。

学校等で、民具を教育資料として使用したいなどの要望があれば対応している。また、旧猪苗代保育所の各部屋をテーマごとに分けて整理しているの、申し出があれば見学は可能である。

旧猪苗代保育所は、民具の収蔵庫として、また、歴史情報資料の保管施設として考えている。保管している資料や民具を、機会あるごとに模様替えをしながら常設展示と企画展を実施していたが、民具が収蔵してある旧猪苗代保育所との距離が近くなったことから、年1回程度の企画展を検討していく。

### 【意見】

◎日常の生活用具や農具など、民具資料から先人たちの生活の知恵や工夫を授業や体験学習として学校教育に取り入れるべきである。

◎高齢者などが収蔵庫を訪れ過去を回想することで、元気に生きる源にもなると考える。◎民具を活用したむしろ織りや縄をなったりする体験と、古来の食べ物を含ませるなど、総合すればイベントが開催できるのではないか。◎道の駅で猪苗代町の魅力を宣伝できるものを展示すべきである。



多くの民具が保管されている

## 福島県町村議会議員研修会(2月1日)

「地方分権時代の自治体議会改革／自治体議会と地方創生」と題し、地方分権で拡大する自治体議員の責任や、人口減少社会と地方創生、問われる議会の役割、議会が議会として機能することができ体制づくりなどについて明治大学教授の牛山久仁彦氏が、また「3選・改憲・アベノミクス」難題に直面する安倍1強政権」と題して、政治ジャーナリストの泉宏氏の講演を聴講しました。



県内から多数の町村議会議員が参加して行われた(ビッグパレットふくしま)

## 議会を傍聴しませんか

次の定例会は6月です。

事前の申し込みは不要です。

直接役場3階までお越しください。

傍聴の手続きは、傍聴席の入口で住所氏名、年齢を記入するだけです。

お気軽に傍聴にお越しください。

▼問い合わせ先▼

猪苗代町議会事務局

電話 0242(62)5666







なかた はると  
中田 晴人さん（猪苗代中学校）



## わたしたちの町



私がこの町に来たのは、6年前のことです。東日本大震災の影響で父の実家に1年程避難していた私は、ここ猪苗代町に住むことになりました。

「美しい。」

この町で最初に眺めた景色は、実に単純で、温かなものでした。雄大な磐梯山が私を迎えてくれたような気がして、晴れやかな気持ちで、新しい世界でのこれからに想像をふくらませたことを、今でも覚えています。

それからの毎日は、驚きと発見に満ちた、飽きないものでした。道路から水が出た時には目が飛び出る程びっくりしました。また地域の方々も、非常に優しく、この町に来てよかったと何度思ったことでしょうか。

今、私は猪苗代中学校の生徒会長をしています。これまで経験したことがないような忙しい日々は大変ですが、どこか楽しいのは不思議です。6年前、私を温かく迎えてくれた、この猪苗代町がなかったら、きっと会長ではなかったでしょう。今の私が在るのは、この「ふるさと」のおかげです。だから私は、この町のような温かい存在になれるよう、日々努力していきまします。6年前の私を救ってくれた「本当のふるさと」のように。

### 傍聴においで下さい

**6月議会は  
6月5日(火曜日)  
開会予定です。**

【一般質問予定日：11日(月)・12日(火)】

※質問者・質問内容については6月1日以降に町のホームページ（議会事務局）に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

#### 掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・如風庵
- ・まちのえきまるしめ

### 秋の叙勲



元猪苗代町議会議員の渡部一さんが、旭日単光章を受章され、3月17日（土）にホテルリステル猪苗代において、叙勲祝賀会実行委員会による祝賀会が開催されました。

おめでとうございます。

#### 今号の表紙

町立ひまわりこども園の卒園式。楽しかった思い出を胸に、4月からはピカピカの1年生です。



### 編集後記

「町民の声」が「わたしたちの町」になり、2色刷り平均18ページになりました。今までも研鑽を重ね、優秀広報の議会研修などを実施し、皆様に議会の内容が伝わるよう、紙面づくりに努力をしております。

特に今回より、将来を担う若い皆さんに参加を頂きます。

大変、楽しみにしております。

佐藤 英一郎

#### 議会広報編集特別委員会

議長	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長
長沼 一夫	渡辺 二公	細貝 功人	佐瀬 真	瀧田 勝昭	星野 あけみ	佐藤 英一郎	後藤 公男